

令和 4年度 「校庭芝生化地域連携事業」 実施報告書

区市町村名 府 中 市

学校名 府中市 立 若松小学校

1 事業目的 協議会名 府中市立若松小学校芝生ボランティア

学校とPTA・地域が連携・協働した芝生の維持・管理及び活用等の仕組づくりを推進することを通して、児童の体力向上を目指したり、地域の教育力向上を目指したりする。

2 主な取組と成果

○授業、休み時間、学校行事等での活用

毎日、芝生の若ザムライ校庭(第2校庭)を毎日の学習や学級活動、休み時間(心と体の元気アップ)を安心して行うことができた。

○「本物授業」

FC東京から石川直宏氏他4名の方をゲストティーチャーとしてお招きし、体育の学習を行うことができた。FC東京が作成し、府中市内の1年生にも配付された「あおあかドリル」は、さまざまな動作習得の基礎となる多様な動きを体験できるものであり、児童は石川CCや普及部コーチの声かけを受けながら、ドリルの動きにチャレンジし、「できた」と喜び、スポーツの楽しさを味わいながら学習することができた。

○冬芝の種まき

毎年5年生が冬芝の種まきを行っており、芝生に対する理解が深めることができた。日々管理してくださっている方へ感謝の気持ちを伝えることもできた。

3 取組内容

①授業、休み時間での活用

実施日:通年 対象者:全校657名

内容:体育・学級活動などでの運動やレクリエーション活動、休み時間の遊び場所として

②冬芝の種まき

実施日:令和4年11月1日 学年:5年生児童

内容:種まき機を使用し、冬芝の種まきをする。

③FC東京と連携した「本物授業」

実施日:令和5年2月3日 対象者:1年生児童(109名)

内容:あおあかドリルを活用した体づくりの運動遊び

(スポーツや運動の基本的な動きを紹介した『あおあかドリル』を活用した体育の授業。)

講師:FC東京クラブコミュニケーター石川直宏様、

FC東京普及部コーチ鯨井健太様、田中三千太郎様、櫻澤寛樹様



5年生 冬芝の種まき



1年生体育「あおあかドリル」を活用した体づくりの運動遊

4 今後について

・今年度は、報償費を使わせていただき、FC東京から4名の方をゲストティーチャーとしてお招きし、体育の授業を芝生で行うことができた。2021.1.18に府中市とFC東京は「地域活性化に関する協働協定」を締結しており、FC東京は地域と連携したホームタウン活動を行っている。その一環として『あおあかドリル』を活用している小学校にFC東京の普及部コーチ等が学校を訪問してドリルを活用した授業を行ったり、『あおあかドリル』以外にも子供たちにさまざまな運動の機会を提供できるよう体育の授業を行ったりしている。授業当日の様子は、「J:COM武蔵野・三鷹」の地域ニュースとして取り上げられた。来年度以降も、本校児童にさまざまな運動の機会を与え、楽しく体育を学習できるよう、引き続きFC東京との連携授業に報償費を使わせていただきたい。

・コロナ禍で府中市のタグラグビーのイベントが3年連続中止となった。令和5年度に再開されるとして、11月3日にあるだろうイベントに向けても、常時活動としても、活動の模索をしていきたい。